



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 堺商事株式会社  
 コード番号 9967 URL <https://www.sakaitrading.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 赤水 宏次  
 (氏名) 川原 章  
 TEL 06-7166-6180

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,904	1.2	550	4.8	523	0.4	331	1.0
2019年3月期第3四半期	30,263	9.4	525	60.7	521	84.1	327	67.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 357百万円 (12.8%) 2019年3月期第3四半期 316百万円 (34.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	182.56	
2019年3月期第3四半期	180.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,105	7,901	44.2
2019年3月期	18,047	7,644	40.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,562百万円 2019年3月期 7,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		30.00	50.00
2020年3月期		25.00			
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	3.8	580	12.7	560	15.3	340	13.3	187.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	2,000,000 株	2019年3月期	2,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	186,870 株	2019年3月期	186,850 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	1,813,149 株	2019年3月期3Q	1,813,215 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかな回復傾向が続いているとみられますが、消費税増税に伴う個人消費への悪影響、貿易摩擦や中東情勢・新型肺炎問題等の海外情勢の不確実性への懸念による景況感の停滞が深刻化するなど、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、積極的な営業活動や販売効率の改善、海外事業戦略の強化に取り組みましたが、電子材料や環境・機能材料等の事業が市況の低迷や需要の端境期の影響を受け、売上高につきましては、前第3四半期連結累計期間に比べ減収となりました。主な事業の内訳は、次の通りであります。

## ・電子材料事業

電子材料については、通信機器および電子機器向けの部材等が堅調に推移しましたが、半導体業界の停滞感が長期化し、誘電体等の材料の需要の鈍化が見られたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ2.6%減の6,735百万円となりました。

## ・環境・機能材料事業

環境・機能材料については、国内向けバリウム中間体が大きく伸長したものの、酸化チタンや中国向け触媒、輸出向け樹脂製品等が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ0.9%減の16,082百万円となりました。

## ・衛生・産業材料事業

衛生・産業材料については、国内向けの衛生部材は好調に推移しましたが、耐候性土囊等の産業材料が伸び悩み、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ0.4%減の7,086百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ1.2%減の29,904百万円となりました。

以上のように、売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ減収となりましたが、取扱商材が比較的収益性の高い販売構成に一時的に推移したことやここ数年増加傾向にあった営業費用が微減となっていること等により、営業利益は前第3四半期連結累計期間に比べ4.8%増の550百万円となりました。経常利益は同0.4%増の523百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同1.0%増の331百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ942百万円減少して、17,105百万円となりました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が467百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,199百万円減少して、9,203百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が1,325百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ257百万円増加して、7,901百万円となりました。増加の主な要因は、利益剰余金が231百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、わが国経済は、海外諸国の政治・経済動向や貿易摩擦への懸念、企業の景況感の悪化など不透明な要因を多く抱えていること等により、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況の下、当社グループは2019年3月20日に2020年3月期から2024年3月期を対象とする中期経営計画を公表し、

- ① 世界市場に広く展開し持続的に発展するグローバル企業を目指す
- ② 社員が働き甲斐を感じ安心して働ける職場環境づくりを推進する
- ③ 取引先様から信頼を集める化学品商社となる

の3点をビジョンとして掲げ、その実現に向けて様々な施策に取り組んでおります。

連結業績予想については、当初の予想に比して、売上高においては当初の予想売上高を下回りますものの、利益面におきましては、環境・機能材料および衛生材料等の一部商材の販売が堅調であること等を主要因として、予想を上回る見込みをたてております。しかし、化学品業界の需要回復の進捗が想定よりも遅れていることや新型肺炎問題の影響が懸念されることから、第4四半期連結会計期間の業績は、第3四半期連結累計期間の各四半期よりも更に鈍化する傾向にあると予想しております。その不透明な動向を踏まえて、2019年5月10日に公表した通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 40,000	百万円 520	百万円 490	百万円 310	円 銭 170.97
今回修正予想 (B)	38,000	580	560	340	187.52
増減額 (B-A)	△2,000	60	70	30	
増減率 ( % )	△5.0	11.5	14.3	9.6	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	39,514	664	661	392	216.39

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,599,247	2,156,068
受取手形及び売掛金	9,139,545	8,671,814
電子記録債権	1,635,603	1,627,289
商品及び製品	1,794,678	1,818,793
仕掛品	4,950	12,395
原材料	109,346	90,352
その他	164,299	266,353
貸倒引当金	△12,030	△11,400
流動資産合計	15,435,640	14,631,666
固定資産		
有形固定資産	1,895,443	1,751,307
無形固定資産	130,228	104,232
投資その他の資産		
その他	615,088	647,100
貸倒引当金	△29,159	△29,166
投資その他の資産合計	585,929	617,934
固定資産合計	2,611,602	2,473,474
資産合計	18,047,242	17,105,141
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,911,125	6,585,518
電子記録債務	585	355,162
短期借入金	1,744,431	1,758,175
未払法人税等	161,869	66,085
引当金	108,327	57,973
その他	246,400	223,737
流動負債合計	10,172,740	9,046,652
固定負債		
長期借入金	118,928	28,942
退職給付に係る負債	14,553	17,168
その他	96,886	110,863
固定負債合計	230,367	156,974
負債合計	10,403,107	9,203,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,000	820,000
資本剰余金	697,471	697,471
利益剰余金	5,692,959	5,924,248
自己株式	△189,378	△189,411
株主資本合計	7,021,052	7,252,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,334	181,740
繰延ヘッジ損益	△6	3,351
為替換算調整勘定	144,198	125,046
その他の包括利益累計額合計	307,526	310,138
非支配株主持分	315,555	339,067
純資産合計	7,644,134	7,901,514
負債純資産合計	18,047,242	17,105,141

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	30,263,661	29,904,234
売上原価	28,142,795	27,773,221
売上総利益	2,120,865	2,131,013
販売費及び一般管理費	1,595,540	1,580,618
営業利益	525,325	550,395
営業外収益		
受取利息	3,703	7,175
受取配当金	10,377	10,964
為替差益	8,655	-
その他	6,080	5,245
営業外収益合計	28,818	23,386
営業外費用		
支払利息	12,588	14,078
支払保証料	7,295	4,505
売上割引	10,946	9,436
為替差損	-	19,949
その他	1,526	1,954
営業外費用合計	32,357	49,925
経常利益	521,785	523,856
特別損失		
関係会社整理損失引当金繰入額	14,124	-
災害による損失	4,347	-
特別損失合計	18,471	-
税金等調整前四半期純利益	503,313	523,856
法人税等	135,250	159,953
四半期純利益	368,063	363,903
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,382	32,891
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,681	331,012

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	368,063	363,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,894	18,406
繰延ヘッジ損益	△334	3,358
為替換算調整勘定	△281	△28,531
その他の包括利益合計	△51,510	△6,766
四半期包括利益	316,552	357,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,871	333,624
非支配株主に係る四半期包括利益	43,681	23,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。